競　技　注　意　事　項

本大会は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則及び同駅伝競走規準、並びに高校駅伝規則、本大会規定、監督会議申し合わせ事項による。

１　競技について

(1) 競技者は如何なる場合でも道路の中央線より左側を走らねばならない。また右折交差点では誘導ライン（カラーコーン）より右に出てはならない。中継所においてタスキを渡し終わった競技者は速やかに左側へ寄ること。
(2) 引継ぎにはタスキを用いる。本大会に使用するタスキは各チームが用意し、監督会議(10/14)に持参し点検をうけること。
(3) タスキは肩から斜めわき下へかけて走るものとし、肩にかけていないものは失格となる。ただし、引継ぎ前約 400m、引継ぎ後約 200m は手に持って走ってもよいが、できるだけ早く肩にかけること。
(4) 中継所のタスキ受渡し区域はリレーのゾーンに準じ中継線の前方 20m以内とする。
(5) 競技者は、規定のアスリートビブスを、ユニフォームの胸・背部両面にそのままの形で確実に付けること。
(6) 車および人による伴走、飲食物の補給、その他の援助を行うことはできない。伴走およびそれに類する行為があった場合は失格の対象となる。
(7) 第１区走者の出発について
　①　出発時のコース順は、監督会議(10/14)において抽選で決める。
　②　出発の要領はつぎのとおりとする。
　　△　第１区走者は５分前に集合し、３分前に競技服装となる。そして、「30 秒前」のアナウンスでスタートライン３ｍ後方に移動する。「10 秒前」のアナウンスで、スタートラインに並ぶ。
　　△　10 分前、５分前、１分前、30 秒前、20 秒前、10 秒前をそれぞれアナウンスし、10 秒前のアナウンスに続いて「オン・ユア・マークス」と呼ぶ。この時「用意」の姿勢で停止し、ピストルの合図でスタートする。
(8) レース中に走者が不慮の事故のため競技を中止した場合は、次の走区から次走者を出発させる。この場合の出発時期は、最終順位の走者から１分後とし、タスキは白色とする。その場合総合記録は認められないが、事故のあった区間以外の区間記録は認める。
(9) レース中に生じた事故については、応急処置のみ大会本部で行う。
(10) スタート、フィニッシュはつぎのとおりとする。
　①　スタート　　男女ともスタート地点よりトラックを１周と１／２走行後場外へ出る。
　②　フィニッシュ　　男女とも競技場に入りトラックを３／４周走行後フィニッシュする。
(11) 繰り上げ出発について
　①　男子のみ実施する。
　②　場所は、第３中継所（キューピータマゴ(株)前）とする。
　③　原則として先頭チーム通過後、約２０分を経過した時点で一斉スタートとする。
　④　繰り上げ出発のチームのタスキは赤色とする。
(12) 給水所は以下の地点に設ける。
　①　男子３区折り返し地点（男子１区・男子３区・女子１区）
　②　男子第六中継所付近（男子１区・男子３区・女子１区）
　③　男子第四中継所付近（男子４区）

２　競技者の招集時刻、場所、輸送について

(1) １区走者の第１点呼は学校受付とする。学校受付は競技者でなくてもよい。最終点呼は必ず競技者が行い、タスキ及びアスリートビブスの付いたユニフォームを持参提示すること。タスキを準備できない学校、及びオープン参加の学校・チームについては大会本部が貸与する。
(2) ２区以降の各区走者の点呼は、第１点呼、最終点呼とも各中継所（現地）で行う。第１点呼に応じない場合は失格とする。第１点呼、最終点呼ともアスリートビブスの付いたユニフォームを持参提示し、必ず競技者が行うこと。
(3) 競技者は、中継所到着後からスタートまでに時間があるので中継所役員の指導によりウォーミングアップを行うこと。また走り終わった競技者は撤収バスに乗車し、帰着すること。なお、競技者の安全については予め指導しておくこと。
(4) 競技者の荷物は輸送しないので、次走者のものを着用する等、各チームで準備すること。（貴重品等の管理は各チームで行うこと。）
(5) 競技者輸送車として、競技者輸送撤収計画表により運行する。

３　その他

(1) 総合記録は高体連駅伝部ホームページに掲載する。
　　岡山県高等学校体育連盟駅伝部ホームページ　　http://okakoutai.jp/ekiden/
(2) 競技者及び応援者は、中継所付近の民家等に迷惑のかからないように十分注意すること。
(3) 大会当日の当番医 〇長尾整形外科リハビリテーション科　TEL ０８６６-６２-２５１０